

✿新年度スタート!!✿



笑顔が満開!

やまばと

平成30年6月1日

No31

発行者
社会福祉法人
矢祭福祉会

東白川郡矢祭町
東館字藏屋敷122
Tel (0247)46-3385
Fax (0247)46-4400

介護報酬改定について

施設長 金澤健至

介護保険制度では、サービス事業所がサービスを提供したときに受け取る報酬、いわゆる介護報酬が3年ごとに見直されることになります。これを「報酬改定」といいます。この「報酬改定」により、「サービス」とに設定されている単位が増えたり減ったりします。単位が増えた場合は、プラス改定となり、サービス事業所の収入は自動的にアップします。反対に単位が減ると、マイナス改定となり、収入は自動的にダウンしてしまいます。何だか株価に似ていますね。

ですから、報酬改定がおこなわれると、泣く事業所と笑う事業所が出てくることになり、改定の発表時期が近づくと、施設や事業所の管理者の皆さんには、戦々恐々とした日々をおくことがあります。

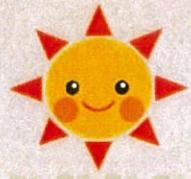
さて、この春、30年4月にも報酬改定が実施されました。前回の改定では、特別養護老人ホームのサービス単位は2ペーセントちょっと下がつてしましました。

さて、今回はどうなったのかといいますと、特別養護老人ホームのサービス単位について、関係者はほつと胸をなでおろしています。現在、全国の特別養護老人ホームでは、人材不足が深刻化しています。職員の配置基準を満たすことができない施設では、受け入れる利用者の数を制限しなければなりません。そのような施設も増加しています。

今回の「報酬改定」は、前回のマイナス改定で経営に苦しみ、さらに人材不足に悩む全国の特別養護老人ホームに配慮したものと評価されています。



おひさま
デイサービスセンター



桜の花きれい

給食交流会(イチゴ大福)

花より団子♪

やまゆりの会

地域包括支援センターより

地域包括支援センターは4月より矢祭町保健福祉センターへ移転しました。社会福祉士、介護支援専門員、看護師の3名で高齢者のみなさんに関するさまざまな相談を受け付けています。介護に関する悩みごと、介護サービスに関する相談などありましたら、お気軽にご連絡ください。



直通電話 46-3770

平成三十年度、「広報やまばと」第一号をお届けしました。
広報委員一同、施設の情報発信に努めて参りますので、よろしくお願いします。

広報委員長

編集後記

ユアアイホーム感染症委員会より
◇ご面会の皆様へ◇

いつもご面会にお越しいただきましてありがとうございます。当施設では、入所者様への食べ物の差し入れ等は食中毒・誤嚥等の予防の為ご遠慮いただいております。

ご理解とご協力を願い申し上げます。

Q. 施設内の自動販売機で飲み物を購入して飲用してもよいでしょうか。

A. 購入して一緒に飲用しても大丈夫です。その際、コップやストローが必要な方は、声をおかけください。

Q. プリンやお菓子を預けたいのですが、どうでしょうか

A. お預かりいたします。おやつの時間や本人の好きな時間に食べていただけるようにお出しします。

母の日のプレゼント

テイサービスセンター館 山 莊

館山の桜を見ながらお花見弁当。

手作りおやつ

みんなで楽しく
鯉のぼりゲーム

5月節句の菖蒲湯

ユアアイホームだより

春の遠足

5月14日～18日にかけて春の遠足へでかけました。
今回は道の駅はなわ御食事処天領さんへ昼食ツアーにてかけました。
久しぶりの外食で、利用者の皆さん大喜び。
普段は少食の利用者さんも、この日は沢山召し上がっていました。
道の駅はなわ御食事処天領さんありがとうございました。

せせらぎ荘だより

4月18日に『お花見茶話会』を行いました。

5月5日に『端午の節句茶話会』を行いました。

5月16日平田村にある「ジュピアランドひらた」にバスハイクに出かけてきました。満開の芝桜を見学し、美味しいお昼を食べて買い物をし帰荘しました。

医務室だより

春が過ぎ穏やかな天気が続く今日この頃ですが
皆さんいかがお過ごしでしょうか？
まだまだ気候が安定せず、不意に寒い日が続き
体調を崩されたりしていませんか？
医務室では、利用者様の体調管理に努め
急な状態変化にも対応できるよう日々の観察や
コミュニケーションなどにより些細な訴えなどを
見逃さないように努力していきます。
利用者様が穏やかに過ごせるよう、これから
も努めて参りますのでどうぞよろしくお願いい
たします。

給食だより

「口から食べる」をみんなで支える

今年度の「給食交流会」は、打ち合わせから作成まで自分たちで行います。特に打ち合わせでは話が盛り上がり笑い声が絶えません。食べる事はいつまでも楽しみだと感じます。
毎日の食事や、季節の行事食、手作りおやつを通して、いつまでも健康で「口から食べる」をお手伝いします。